

【米国】 Case Study 3 自然発生的退職者コミュニティ(NORC) とビレッジ (Village)



→ コミュニティベースで行われている高齢者支援の取組

- NORC※とVillageは、近隣地区/地域の生活支援サービスプログラムモデル。
 - 地域内で健康的な老後生活を過ごせるように支援することが主な目的であり、「ハミルトン-マディソン・ハウスNORC生活支援サービスプログラム(SSP)」と「ホテル・オークランド・Village」の事例を紹介。
- ※NORC : Naturally Occurring Retirement Community

● ハミルトン-マディソン・ハウスNORC-SSP

- マンハッタンのロウアー・イースト・サイドに位置
- 8,000人以上の居住者(大多数は高齢者)がいる3,500戸のアパートにサービスを提供
- 主に公的資金により運営。3/4はニューヨーク市老健局から支給
- ヘルスケア評価サービスの手配、ケース管理、その後のケアと予防対策、自宅療法、カウンセリング、家事/雑用、食事、エクササイズ、送迎、買い物、レクリエーション活動、社交行事といった分野のサービスを受けることができる



現地外観

● ホテル・オークランド・Village

- ホテルを低価格の高齢者向け住宅に改築
- 社会的孤立の解決に資する健康及びウェルネスプログラムを開発するとともに、住民の医療ニーズにも応えている

[主な取組]

- 住民が共同で運営管理するヘルス・エデュケーション・グループ(右表は一例)を立ち上げ、住民にサービスを提供
- 健康に関する相談サービスを住民に提供(ヘルス&ウェルネス・コネクション)
- 地域密着型サービス・センターを設け、高齢者・障害者の自立を支援

ヘルス・エデュケーション・グループの例

転倒防止	<ul style="list-style-type: none">• 転倒リスクに対する意識を高め、転倒防止を促進する• 15人の住民による諮問委員会
健康的な食生活	<ul style="list-style-type: none">• 個人の栄養摂取に関する考察と健康的な食生活習慣を提供する• 調理クラスと勉強会
健康な精神	<ul style="list-style-type: none">• 認知機能の障害と症状に関するセミナー• 脳を刺激する活動の促進
近隣の助け合い	<ul style="list-style-type: none">• 近所の人々が助けを必要としている時に、援助する役割を担う• 各階に2人の「フロア・キャプテン」
個人の安全	<ul style="list-style-type: none">• 犯罪防止と安全確保のための課題• グループウォーキングと雑用グループ